

第02号

2020年  
2月18日



# Safety Mail

● 滋賀県警察本部交通企画課 ●

## 県内の交通事故発生状況

《令和2年1月末現在の人身事故》

|    | 件数  | 死者 | 傷者  |
|----|-----|----|-----|
| 本年 | 253 | 3  | 316 |
| 前年 | 274 | 7  | 367 |
| 増減 | -21 | -4 | -51 |

### 〈高齢者の事故〉

※高齢者…65歳以上をいう



|    | 件数  | 死者 | 傷者  |
|----|-----|----|-----|
| 本年 | 66  | 2  | 35  |
| 前年 | 82  | 5  | 45  |
| 増減 | -16 | -3 | -10 |

1月末現在の交通事故は、前年と比べて発生件数、死者数、傷者数すべてが減少しています。亡くなられた3名のうち、2名は65歳以上の高齢者です。

ドライバーの皆さんは、高齢者を見かけたら、思いやり運転を心がけましょう。

## ◆ 令和元年(平成31年)中の事故類型別交通事故発生状況 ◆

### 人対車両

**発生件数 第1位 横断中 224件**

人対車両の事故で最も多いのは、歩行者が横断中。昨年の交通事故死者57人中、人対車両の横断中が14人と最も多くなっている。



#### ドライバーのみなさん

運転中は運転に集中し、「人が横断しているかもしれない。」「人が飛び出してくるかもしれない。」と予期せぬ状況に余裕を持って対応するために先々の危険を予測した「**かもしれない**」運転をすることが大切です。

危険を感じたら、まずブレーキを踏みましょう。

#### 歩行者のみなさん

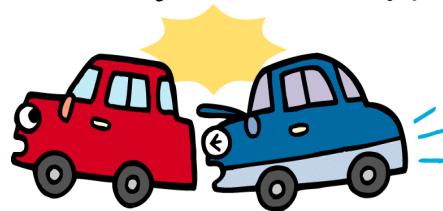
道路横断中の事故では、横断中の歩行者側にも多くの違反が認められます。また、横断歩道以外での横断中に事故にあふ歩行者も少なくありません。

道路を横断する時は、安全確認を忘れずに横断歩道を利用しましょう。

# 車両対車両

**発生件数 第1位 追突 1,428件**

車両相互の事故で最も多いのは、追突。  
令和2年1月中も車両相互の追突が最も多く発生。



ドライバーのみなさん

## ① 脇見をしないで運転に集中！

追突事故の原因は、脇見やオーディオなどの操作による前方不注意、前方車両が発進したと思い込み発進してしまったなど様々です。前方をしっかりと見て運転に集中しましょう。



## ② 車間距離を十分にとる！



前方車両が急ブレーキをかけるかもしれません。十分な車間距離をとって走行しましょう。特に高速道路や大きな車両の後方を走行するときはいつも以上に車間距離を確保しましょう。

**発生件数 第2位 出会い頭 906件**

車両相互の事故で追突に次いで多いのが出会い頭事故。  
昨年の交通事故死者57人中、車両相互の出会い頭が7人と人対車両の横断中の次に多くなっている。



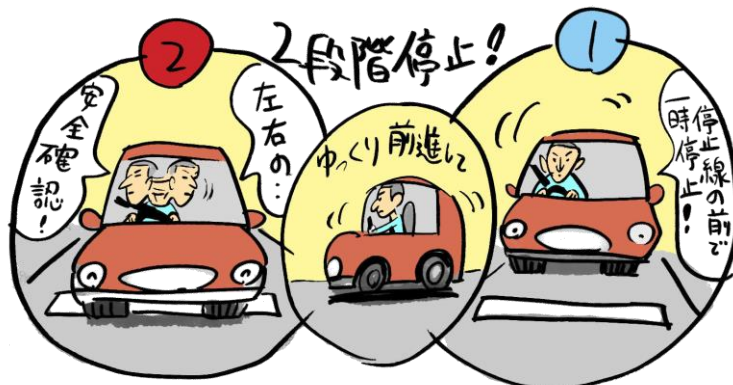
ドライバーのみなさん

## 自分の目で安全確認をする！

交差点に進入するときは、全体に注意を向け、危険をいち早く発見するように心がけましょう。

「相手車両が停止するだろう。」  
「いつも車は走行していない。」などの思い込みは大変危険です。

自分の目で必ず左右の安全確認をしましょう。



事業所内に掲示するなど、多くの方々にご覧いただけるようご協力ください。

TEL 077-522-1231 (代表) Eメール x0022@police.pref.shiga.jp